

令和4年度第2回狭山市立博物館協議会議事録

開催日時 令和5年2月21日(火) 午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所 狭山立博物館研修講義室
出席者 高橋会長、濱田副会長、野村委員、土屋委員、細井委員、宮本委員、小峰委員
千田委員 川口委員
欠席者 植田委員
事務局 滝嶋教育長、石井社会教育課長、原主事
尾澤博物館長、奥富博物館副館長、志水博物館長補佐、アクティオ(株)入佐担当
東急コミュニティー渡辺担当
傍聴者 0名

議題

1 令和4年度事業報告について

会議資料に基づき、令和4年度に実施した企画展・主催事業について博物館長より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

- 委員 小中学校等社会科見学は主に常設展示の解説なのか。
館長 教員の事前の下見の際、解説内容を決定しています。既存のコースから選択いただけるほか、解説内容の希望があれば可能な限り対応しております。
- 委員 近隣の博物館では常設展の見学のほか、石臼で粉を引く、昔の民具に触れる等、体験型の見学を行っている。学年によっては展示解説は内容が難しいかもしれないが、体験事業も加えるとより理解も深まるのではないか。
館長 当館でもアケボノゾウの化石や土器に触れる体験を行っておりますが、今後、拡充を検討してまいります。
- 委員 ベビーカーツアーはどのような広報をしているのか。また実施内容は。
館長 市内の子育て支援施設、公立幼稚園、保育園、児童館等にチラシやポスターを配架しています。ベビーカーのまま展示を見学でき、希望があれば学芸員が解説をするもので、これまでは平日に実施しておりましたが、令和5年度の企画展からは日曜日の午前中に開催する予定です。
- 委員 PRは様々な媒体で行うことで目にする機会も増えるかと思う。
館長 ホームページをご覧になれない方もいますので、広報活動は工夫をしていきたいと思います。
- 委員 秋期企画展のように、チラシやポスターだけではなく、実際の展示物の一部があると、もっと興味を抱いてもらえるのではないかと思う。

2 令和5年度事業計画について

会議資料に基づき、令和5年度に予定している企画展・主催事業について博物館長より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

- 委員 冬期企画展の際、和と洋の比較にあたり所蔵の西洋美術品の出品予定は。
- 館長 検討中でございますが、比較鑑賞等を行っていく企画も考えております。
- 委員 図書コーナーはどのような系統立てを考えているのか。
- 館長 各博物館の図録や紀要、年報等、「博物館」ならではの資料を整理していくほか、市教育委員会が刊行した文化財報告書も配架を予定しております。
- 委員 良い試みだと思う。図録は年一回は作成し、他館との交流に繋げてほしい。
- 館長 図録については博物館の生命線であり、財産ととらえています。令和5年度以降の図録の刊行については検討してまいります。
- 委員 入間市博物館との連携について、小さなことでも共通しているテーマがあり、それを展示に活用できる内容であると良いと思う。
- 会長 かつて入間、飯能等4市合同により入間川をテーマに企画展を開催した。史跡巡りについては、歴史ガイドの会等のグループも活用してほしい。
- 館長 検討してまいります。

3 その他

事務局の社会教育課より、狭山市立博物館条例の一部改正の内容について説明があった。その後、委員から意見交換を行った。

会長 博物館法の改正による一部改正ということだが、博物館が行う事業に大きな変更はないという認識で間違いないか。

事務局 お見込のとおりです。

(社会教育課)

委員 資料の収集整理については社会教育課の所管となるかと思うが、資料の受入れの状況を報告いただけると、展示への活用等について助言できると思う。

事務局 承知しました。

(社会教育課)

委員 最近ではビジュアル面が重視されており、透明標本展もSNS上で若者の間でも話題となっていた。ただ展示品を並べるだけではなく、魅力的な展示方法を模索し、来館者が楽しめるビジュアル的な展示も行ってほしい。

館長 検討してまいります。